資料１

福島国際研究教育機構（F-REI）の活動状況について

令和８年11月10日

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

F-REI

福島国際研究教育機構（F-REI）（令和5年4月1日設立）の概要

内閣総理大臣
文部科学大臣
厚生労働大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
環境大臣

共管

福島国際研究教育機構 (F-REI)
Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

- 研究者に**魅力的な環境**
- **若手・女性研究者**の積極登用

将来的には**数百名**

国内外の優秀な研究者等

機構の４つの機能

研究開発 | **産業化** | **人材育成** | **司令塔**

機構が取り組むテーマ

【①ロボット】



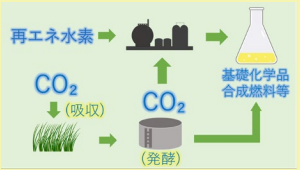
ロボット・ドローンを活用した被災者の捜索・救助

【②農林水産業】



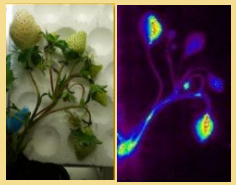
農林水産業のスマート化（農機制御システム）

【③エネルギー】



カーボンニュートラルの実現（バイオ・ケミカルプロセスによる化学製品等の製造）

【④放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用】



放射線イメージング技術の研究開発

【⑤原子力災害に関するデータや知見の集積・発信】



復興・再生まちづくりの実践と効果検証研究

福島国際研究教育機構の設置効果の広域的な波及へ

福島国際研究教育機構（F-REI）の組織体制について

理事長特別顧問

理事長



山崎　光悦

国際アドバイザー

アドバイザリーボード

監事



森下　信



中西　友子

理事



髙谷　浩樹
（運営総括）



江村　克己
（研究開発管理）

執行役



大本　治康
（産業化・施設・整備）



大和田　祐二
（研究人材・人材育成・国際化）

広域連携監



村田　文夫
（広域連携・福島RTF）

運営管理部門　125人（女性31：外国籍４）

- 監査室
- 総務部
  - 総務課
    - 広報室
  - 人事課
  - 財務課
  - 経営企画課
  - 施設・フィールド管理課
  - 情報システム課
- 研究開発推進部
  - 研究開発企画課
    - 研究評価・インテグリティ室
  - 研究開発推進第一課
  - 研究開発推進第二課
  - 人材育成推進課
  - 国際・産学官連携推進課

研究開発部門　167人（女性43：外国籍18）

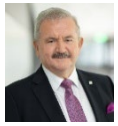
- 分野長等15人
- 研究開発マネジメント室
- 研究開発ユニット（21ユニット）152人

職員計　300人
（女性75人25%、外国籍22人7%）

（R8.10.1時点）

国際アドバイザー・アドバイザリーボード

➢ 国際アドバイザー

	**スヴァンテ・リンドクヴィスト博士（Dr. Svante Lindqvist）** ノーベル博物館創設者
	**ライムント・ノイゲバウアー博士（Prof. Dr. Reimund Neugebauer）** フラウンホーファー研究機構前理事長
	**フィオナ・レイモン博士（Prof. Fiona Rayment）** 経済協力開発機構/原子力機関運営委員会副議長
	**スブラ・スレッシュ博士（Dr. Subra Suresh）** 米国国立科学財団元長官

直近の概要



7月23日～24日にてフィオナ・レイモン博士がF-REIを訪問。
F-REIを国際的な研究拠点にするための方途及び国際人材の確保等について役員と活発な意見交換を行った。
また、地域の現状の理解をより深めるたため、震災遺構・浪江町立請戸小学校、福島県復興祈念公園、會澤高圧コンクリート株式会社、JAEA廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）富岡施設の視察を行った。

令和7年度以降での意見交換の状況

スヴァンテ・リンドクヴィスト博士	令和8年4月　浪江町
フィオナ・レイモン博士	令和7年8月　浪江町 令和8年7月　浪江町

➢ アドバイザリーボード

	**石村　和彦（いしむら　かずひこ）** 産業技術総合研究所理事長
	**小安　重夫（こやす　しげお）** 量子科学技術研究開発機構理事長
	**永田　恭介（ながた　きょうすけ）** 筑波大学長
	**原山　優子（はらやま　ゆうこ）** 東北大学名誉教授

直近の概要



令和8年８月5日　第７回アドバイザリーボード（於:東京）
F-REIから最近の動向、研究成果の最大化に向けた研究開発の取組、運営マネジメントについて説明。
分散する拠点の運営等について、小安アドバイザーからの講演とともにアドバイザーで活発な意見交換を実施。

令和7年度以降での実施状況

令和7年7月15日　第5回アドバイザリーボード（於:東京）
令和8年2月3日　第6回アドバイザリーボード（於:南相馬市）
令和8年8月5日　第7回アドバイザリーボード（於:東京）

産業化の取組

F-REIにおける研究開発を、福島をはじめ東北の復興に結び付けるためには、広く企業や関係機関を巻き込みながら、実用化や新産業創出に着実につなげていく。

➢ 産学官ネットワーク・セミナー

東北の復興を見据え、福島県内外の企業他を巻き込んだ産学官の連携体制構築の機会とするため、F-REIとの連携を含めた産学官連携や産業化について、ディスカッション等を実施



➢ F-REI座談会

対話を通じて地域の産業関係者等にF-REIの研究開発内容を伝えるとともに、産業化、社会実装を見据えたネットワークの構築を図る



➢ F-REI研究者と企業との交流会

F-REIの研究者と福島県内企業との双方向のコミュニケーションにより互いの理解を深め、F-REIと地元企業等の具体的な連携促進を図ることを目的として開催



➢ 企業が多く集まるイベントでのブース出展

企業に向けた情報発信により機構の存在感を示し、産学連携を図るため、県内を中心にイベント等でのブース出展を積極的に行い、研究内容や進捗を説明



産業化：産学官ネットワーク・セミナー

東北の復興を見据え、福島県内外の企業他を巻き込んだ産学官の連携体制構築の機会とするため、F-REIとの連携を含めた産学官連携や産業化について、ディスカッション等を実施するもの。

令和７年度 第1回F-REI 産学官ネットワークセミナーの概要

○主　　催：F-REI
○後　　援：復興庁、福島県、福島市、福島相双復興推進機構、
　　福島イノベーション・コースト構想推進機構、株式会社東邦銀行、
　　東京海上日動火災保険株式会社
○日　　時：令和８年３月17日（火）13:00～17:40
○会　　場：ウェディングエルティ（福島県福島市）
○参 加 者：民間企業、団体、大学、地元自治体等から、計212名(主催側出席者除く)

○実施内容：　　（うち92名はオンライン参加）

農林水産業分野を中心に、ロボットやエネルギー分野などの関連する研究についてⅠ農業、Ⅱ林業・水産業、Ⅲスマート化の３つのテーマに分けて研究の概要等の紹介を行いながら、農林水産業関係の事業を営む企業からの取組紹介等を実施。

・F-REIの取組紹介
・講演

テーマⅠ：農業
F-REIで研究する土壌や植物イメージング技術に加え、県内で活躍する農業法人の取組を紹介。

テーマⅡ：林業・水産業
林業機械や、海洋資源を活用したエネルギー利用についての研究、浪江町で陸上養殖を行う企業の取組を紹介。

テーマⅢ：スマート化
スマート農業の実現を目指して行っている研究の内容及びスマート農業の一例として植物工場についての話題を紹介。


山崎理事長　開会挨拶


会場の様子


パネル展示の様子

産業化：F-REI座談会

対話を通じて地域の産業関係者等にF-REIの研究開発内容を伝えるとともに、産業化、社会実装を見据えたネットワークの構築を図る場として開催

座談会の概要

- **伝える**
  F-REI研究者がF-REIの研究開発の内容を直接伝える
- **深める**
  F-REI研究者が地域の産業関係者等と直接対話
- **つながる**
  F-REIが地域の産業関係者等と直接つながり、ネットワークを構築

ー座談会のプログラム（例）ー

・F-REIの研究開発事業に係る講演
・地域の関係者とのパネルディスカッション

令和7年度 開催実績

- **浜通り地域等**
  テーマ別で開催
  ・令和7年7月11日　エネルギー分野（いわき市）
  ・令和7年12月22日　ロボット分野（南相馬市）
- **福島県が主催の以下において F-REIの取組について説明**
  福島イノベ構想参画促進セミナー
  ・令和7年8月7日 須賀川市
  ・令和7年10月22日 二本松市
  ・令和7年12月4日 会津若松市

  福島イノベ構想・F-REIコミュニティフォーラム
  ・令和7年11月14日 会津若松市
  ・令和8年1月14日　福島市









産業化：F-REI研究者と企業との交流会

F-REIの研究者と福島県内で活躍する企業との双方向のコミュニケーションにより互いの理解を深め、F-REIと地元企業等の具体的な連携促進を図ることを目的として開催。今後も、F-REI研究者と地元企業が交流し、研究成果の社会実装に向けて議論を進めていく。

ロボット分野
燃料電池システム研究ユニット

◇ 期日：令和8年1月21日（水）
◇ 場所：コラッセふくしま（福島市）
◇ 主催：福島県
　　福島国際研究教育機構（F-REI）
　　福島イノベーション・コースト構想推進機構
◇ 参加者：F-REI研究者と県内企業
◇ 内容：
- 燃料電池システム研究ユニットの飯山明裕ユニットリーダーが、現在実施している研究概要を説明。
- その後、ワークショップ形式で県内でドローン関係の事業に取り組む企業等と意見交換を行い、活発な議論が行われた。





エネルギー分野
エコ水素エネルギー材料・デバイス研究ユニット

◇ 期日：令和8年10月15日（木）
◇ 場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）
◇ 主催：福島県
　　福島国際研究教育機構（F-REI）
　　福島イノベーション・コースト構想推進機構
　　福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会
　　水素分科会
◇ 参加者：F-REI研究者と県内企業
◇ 内容：
- 内本喜晴ユニットリーダー等から、研究の概要や必要とする技術等について説明。
- その後実施されたF-REI研究者と参加企業との個別面談において、各企業から事業内容等を紹介いただくとともに、研究活動との接点や今後の連携可能性について意見交換を実施。



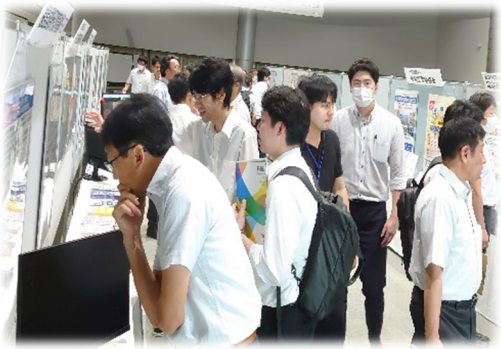


産業化：企業向けブース出展

企業に向けた情報発信を通じて機構の存在感を示すとともに、産学連携、人材確保を図るため、県内を中心にイベント等でのブース出展を積極的に行い、研究内容や進捗を説明していく。

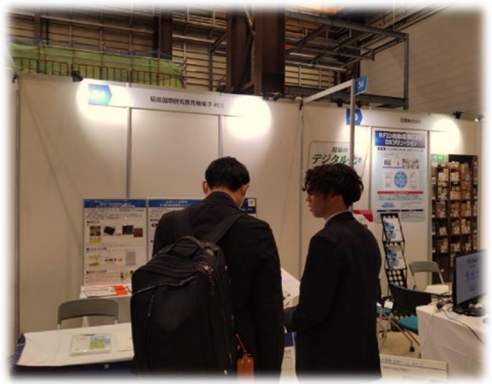
直近の実績

- ○ 令和７年10月16･17日（木･金）
  ふくしま再生可能エネルギー産業フェア
  （REIFふくしま2025）
- ○ 令和7年10月24日（金）
  福島廃炉産業ビジネス総合展2025
- ○ 令和7年10月29･30日（水･木）
  メディカルクリエーションふくしま2025
- ○ 令和7年11月21･22日（金･土）
  ロボット･航空宇宙フェスタふくしま2025
- ○ 令和８年1月22日（木）
  ふくしま産業交流フェア
- ○ 令和８年６月30日（火）
  ハイテクプラザ成果展示・交流会
- ○ 令和８年10月13日～16日（火～金）
  CEATEC2026（幕張メッセ）
- ○ 令和８年10月15～16日（木･金）
  ふくしま再生可能エネルギー産業フェア
  （REIFふくしま2026）
- ○ 令和８年10月28日（水）
  福島廃炉産業ビジネス総合展2026









人材育成の取組

イノベーションを創出し、新たな産業基盤の構築を通じて、立地地域等をはじめとする福島や東北の創造的復興を実現し、ひいては世界の課題解決を目指し、立地地域等において様々な分野の研究者や技術者を育成する体制を構築する。

- **F-REIトップセミナー**
  福島県内外の大学、高等専門学校の学生を対象に、理事長等の機構のトップ陣によるセミナーを実施。



- **出前授業**
  県内高校向けに、F-REI研究者によるSTEAM教育等の出前授業を、イノベ機構の事業を通じて実施。



- **F-REIサイエンスラボ**
  小中学生等が科学技術に触れる多様な機会として、R8年度は９回開催（11月10日現在）



- **サマースクール**
  高校・大学生を対象に、将来の研究者となるための研究体験を行う機会として実施。



- **連携大学院**
  東北大学大学院医学系研究科と「放射線環境生体医学連携講座」の設置に関する協定に基づき、学生受け入れ・指導開始。

- **その他**
  （研究体験講座（R8.8.19：会津高等学校、R8.8.25：磐城高等学校）
  国際STEAMワークショップ in Fukushima 2026（R8.7.25～26））



人材育成：F-REI トップセミナー

福島の創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代等を対象とした人材育成の取組の一環として、新産業創出等研究開発協議会の４機関を対象に、F-REI役員が自らの経験を通じて研究者としてのやりがいなどを伝えるもの。

令和8年度 F-REI トップセミナーの概要

○開催時期：令和７年５月～１０月

○講　師：山崎光悦理事長ほかF-REIの役員

○実施内容：

以下に関する講義を実施

➢自身の経験を通じた研究者としてのやりがい

➢最先端の科学技術の魅力と可能性

➢学ぶことの重要性と未来をどう築くか

➢F-REIの役割と将来像　　等



実施対象

○実施対象：新産業創出等研究開発協議会の４機関

福島大学
福島県立医科大学
会津大学
福島工業高等専門学校　別途、県外版も実施予定

令和8年度 開催実績

5月22日　会津大学（山崎理事長）
6月17日　福島工業高等専門学校①（秋田副分野長）
6月18日　福島工業高等専門学校②（森下監事）
10月14日　福島県立医科大学（髙谷理事）





人材育成：出前授業

地域の未来を担う若者世代を対象として科学の楽しさを伝え、理系導入を促す。

令和７年度 開催実績

〇7月4日　原町高校
　講師：東北大学苅谷准教授
〇7月28日　日本大学東北高校
　講師：地域環境共創ユニット　石井主任研究員
〇8月4日　磐城高校
　講師：パワーソフトロボティクスユニット　鈴森ユニットリーダー
〇10月28日　会津学鳳高等学校
　講師：土壌ホメオスタシス研究ユニット　藤井ユニットリーダー
〇11月26日　安積黎明高等学校
　講師：地域環境共創ユニット　林ユニットリーダー
〇12月9日　ふたば未来学園高校
　講師：村田広域連携監
〇12月17日　福島高校
　講師：土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニット　二瓶ユニットリーダー
〇2月13日　原町高校
　講師：大和田執行役
〇2月16日、17日、19日　なみえ創成小学校
　講師：武田主任研究員、有銘EA、AdelaSCほか
〇2月27日　安積中学校
　講師：村田広域連携監

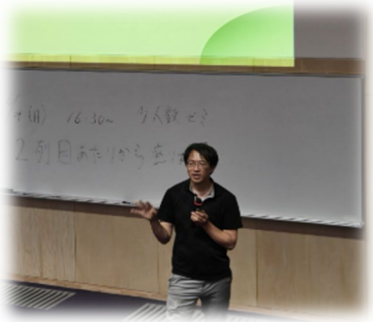
実施対象

〇実施対象：福島県内の高校　等
(福島ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｺｰｽﾄ構想推進機構とも連携して実施)

令和８年度 開催実績

4月30日　会津学鳳高校（錦谷副分野張）
6月29日　安積中学校・高等学校（藤井UL）
7月　３日　原町高等学校（葛西研究員）



人材育成：F-REIサイエンスラボ

小中学生やその親子を対象に、科学技術に触れる多様な機会（体験学習会）を提供し、地域の未来を担う若者世代の人材育成を図る。

科学ゼミナール「プログラミングを体験してみよう」

- 開催日：令和8年5月24日（日）
- 会　場：郡山市ふれあい科学館
- 参加者：47名（小学生13名、中学生6名、その他28名）
- 内　容：プログラミング講座




かがくま！（かがくとくらしのまつり）

- 開催日：令和８年7月19日（日）
- 会　場：CREVAおおくま
- 参加者：50名（全体237名）
- 内　容：偏光フィルムと紙コップを使った万華鏡づくり




電子工作＆プログラミング夏休み教室

- 開催日：令和8年8月22日（土）～23日（日）
- 会　場：浪江地域スポーツセンター
- 参加者：浜通り地域の小、中学生とその保護者6名
- 内　容：プログラミング講座




相馬市子ども科学フェスティバル

- 開催日：令和８年10月10日（土）
- 会　場：スポーツアリーナそうま
- 参加者：65名（小学生50名、中学生1名、その他14名）
- 内　容：偏光板を用いたマジックボックス工作




人材育成：サマースクール

全国の学部生・大学院生等を対象にF-REIの研究活動を体験する機会を提供することで、研究者を目指す学生が学際的研究への理解を深め、将来の研究キャリアに関するビジョン構築の一助とする。
令和８年度には２プログラム実施

概要①：地域環境共創ユニット

- 受入期間：令和８年８月１８日（火）～２４日（月）
- プログラム
  - 【8/18(火)】サマースクール参加に係る安全講習、コミュタン福島見学
  - 【8/19(水)】フィールドワーク（太田川）、サンプル前処理
  - 【8/20(木)】フィールドワーク（浪江町津島地区）、サンプル前処理
  - 【8/21(金)】サンプル分析 / まとめ
  - 【8/22(土)】震災遺構等見学（伝承館 / 復興記念公園 / 請戸小学校）
  - 【8/24(月)】活動報告会、座談会(福島の復興について@村田広域連携監)
- 参加者：２名(大学院生１名、大学生１名)
  - 東北大学大学院博士課程１年生
  - 近畿大学４年生





概要②：土壌･植物マルチダイナミクス研究ユニット

- 受入期間：令和８年８月１９日（水）～２７日（木）
- プログラム
  - 【8/19(水)】サマースクール参加に係る安全講習、マイクロデバイス設計
  - 【8/20(木)】マイクロデバイス鋳型設計(3Dプリンター)
  - 【8/21(金)】マイクロデバイス製造(シリコン（PDMS）成型、ガラス接着)
  - 【8/24(月)】培養操作（播種 / 移し替え）
  - 【8/25(火)】顕微鏡観察（共焦点レーザー顕微鏡(CLSM) / デジタル顕微鏡）
  - 【8/26(水)】震災遺構等見学（伝承館 / 復興記念公園 / 請戸小学校）
  - 【8/27(木)】活動報告会、座談会(福島の復興について@村田広域連携監)
- 参加者：６名(大学院生３名、大学生２名、高専生１名)
  - 北海道大学大学院 修士課程２年生
  - 大阪公立大学大学院 修士課程２年生
  - 金沢大学大学院 修士課程１年生
  - 慶応義塾大学 学士課程４年生、１年生
  - 福島工業高等専門学校４年生






人材育成：連携大学院

大学とF-REIが連携大学院制度を活用して協力し、F-REIにおける先端科学の研究開発機能を活用しながら学位を付与することで高度な専門知識や技術を持つ研究者を育成する。

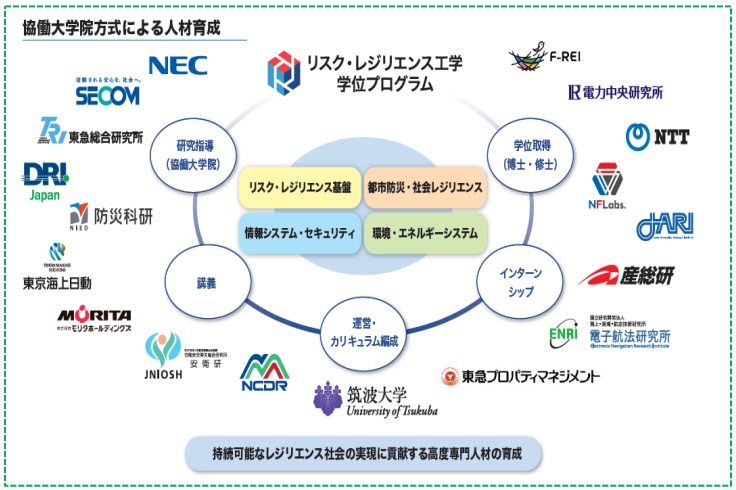
これまでの取り組み

- 令和6年3月8日に東北大学大学院医学系研究科と「放射線環境生体医学連携講座」の設置に関する協定を締結。
  【参考】同講座で学ぶ東北大学院生が第63回アイソトープ・放射線研究発表会で「若手優秀講演賞」を受賞
- 令和8年4月1日に岩手大学と大学院連合農学研究科の教育研究に関する協定を締結。（連合大学院に福島大学も参画）
- 筑波大学独自の大学院教育制度である「協働大学院制度」への協力を開始（令和７年６月に大学院リスク・レジリエンス工学学位プログラムの運営母体である「レジリエンス研究教育推進コンソーシアム」に入会、取組への協力を開始）

筑波大学大学院「協働大学院制度」 参画機関による協力の内容

- 講義
  ・参画機関の研究者等がリスク・レジリエンスに係る講義を実施。
  （R8.6.15：大和田執行役による講義を実施。）
- キャリアマッチングデー
  ・参画機関と学生のマッチングイベントを実施し、学生と参画機関の交流を促進。（R8.5.25）
- 研究指導
  ・参画機関の研究者等が筑波大学の協働大学院教員として大学院生の指導（主指導または副指導）を担当。
- インターンシップ
  ・参画機関において、中・長期のインターンシップを実施。
- その他
  ・上記とは別に、山崎理事長によるトップセミナーも実施。（R7.7.14）





司令塔の取組

F-REIのリーダーシップの下で、既存施設や大学等の各機関が福島において取り組む新たな産業の創出等に資する研究開発に関する計画等を持ち寄り、協議会での議論を通じて、研究開発力を結集するための目標やビジョンの共有を図る。

➢ F-REI協議会の組織・運営

福島復興再生特別措置法第109条の規定に基づき、新産業創出等研究開発等施策の実施に関し必要な協議を行うため開催

➢ 連携協力に関する基本合意書等の締結

F-REIのミッションを円滑に進めるとともに、F-REI設置の効果を広域的に波及させるため、研究開発・人材育成等における連携、双方の資源を有効的に活用した協働活動等、締結先に応じた協定を締結。

（直近の締結状況）

締結日	締結先
令和7年8月29日	理化学研究所環境資源科学研究センター
令和7年10月28日	東京大学大学院情報学環
令和8年2月9日	あぶくま信用金庫
令和8年3月10日	兵庫県立大学
令和8年4月1日	岩手大学（大学院連合農学研究科の教育・研究に関して）







福島ロボットテストフィールド（RTF）

南相馬市にある陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点であり、インフラや災害などの現場環境を再現し、ロボット・ドローンの性能評価や操縦訓練等を行うことのできる世界に類を見ない施設。
2025年4月、F-REIがRTFを統合。研究開発等の機能を付加することにより、更なる発展・活用を目指している。

施設の利用状況

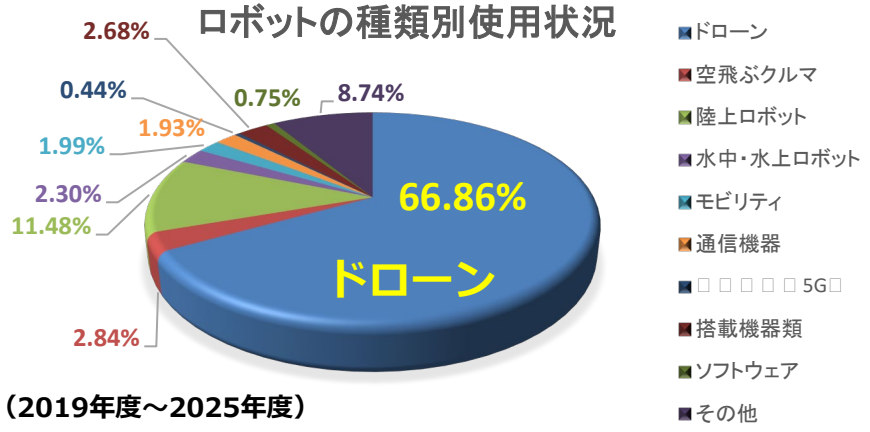
敷地内実証件数
1,502件
（2018年7月～2026年９月）

RTF来訪者数
152,700名
（2018年7月～2026年９月）









（2019年度～2025年度）

WRS2025 過酷環境F-REIチャレンジ

【大会概要】
○主催：F-REI　共催：経済産業省
後援：復興庁、福島県、南相馬市、浪江町
○日程：2025年10月10日（金）～12日（日）
○会場：福島ロボットテストフィールド
浪江町地域スポーツセンター
○参加：日本を含む８の国・地域　34チーム









「エフとも」

「エフとも」とは

- 福島浜通り地域等を中心とした**教育・科学・文化の振興プラットフォーム**（事務局：福島国際研究教育機構（F-REI））
- メンバー機関の活動について、広域連携により取組みの効果を高めるため、**相互扶助（互助）を行う仕組み**。

次代を担う人材を育て、未来をつくっていく取組みを応援

未来をつくる

- **出前授業**
  研究者等による学校での出前授業等
- **F-REIインターンシップ**
  企画運営・研究開発支援のインターンシップ等を提供
- **F-REIサイエンスラボ**
  地域イベント等での開催

など

地域とともにコミュニティ創成を進めていく取組みを応援

コミュニティ創成を進める

- **交流会**
  各市町村や業務の垣根を超えた活動範囲の拡大
- **ボランティア協力**
  メンバー機関主催のイベントへの相互協力
- **コミュニケーションツールの活用**
  Slackを活用しチャンネル開設

など

「エフとも」を通じて、
「共感」と「巻き込み」を高め、メンバー機関の取組みのインパクト最大化を図る

メンバー機関

自治体、大学等教育機関、まちづくり団体、その他浜通り地域等で活動する機関、全39団体が参画（11月10日現在）

活動実績（2026年）

- ●1月28日 エフともカフェ開催（富岡町：20名）
- ●2月10日 エフともカフェ開催（大熊町：80名以上）
- ●2月16日
  17日プログラミング教育（なみえ創成小学校：59名）
  19日
- ●3月11日 F-REIメッセージリレー2026の動画を公開（４団体）
- ●4月 ４日 エフともカフェ開催（浪江町：約21名）
- ●8月21日 第２回総会（大熊町：22機関47名）
  エフともカフェ開催（大熊町：33名）





